

ちょっと聞いてみませんか？こころの声 ひらのこころの保健室

第11回 自死遺族について聞いてみよう

自死遺族について知ろう

10年連続で「自殺者3万人」。

このような見出しの記事やニュースを見かけた人も多いのではないのでしょうか。私たちが生きる社会では、1年間で3万人以上の方が自殺で亡くなっています。実に交通事故死の4倍以上にあたります。

未遂者は30万人以上と言われ、1人の自殺(未遂)によって、遺族や友人など周囲の少なくとも6人以上が深刻な心理的影響を受けると言われています。すなわち毎年180万以上が日本全国で「自殺」に苦しんでいることとなります。そのような危機的な状況を受けて、2006年には自殺対策基本法が成立し、社会全体で自殺対策を総合的に推進していくことが決まりました。

今回のテーマは『自死遺族』。

基本法の中でも自死遺族支援は重要な柱として位置付けられています。『自死』という言葉は初めて聞く方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。大切な人を亡くした人にとって「自殺」という言葉は衝撃的で辛い気持ちを深めてしまう可能性があるということで「自死」という言葉が多く使われるようになったと言われています。今回は大阪で親の自殺を語る会(カウンセリングスペース「リヴ」)を主催している吉田まどか氏をお招きして、自死遺族としての体験談や会の活動内容を通して自殺について考えていく機会にできればと思います。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

講師

カウンセリングスペース「リヴ」代表

吉田 まどか氏

日程・会場・アクセス

- 日時 平成20年11月15日(土) 13:00~16:00(12:30受付)
- 場所 にこにこセンター 3F(平野区社会福祉協議会)
- 定員 60名(定員になり次第締め切り)
- 料金 無料

お申し込み・お問い合わせ

裏面申込用紙に必要事項をご記入の上、事務局までご送付ください。
主催 特定非営利活動法人 精神保健福祉を考える市民の会ひらの
後援 大阪市 / 社会福祉法人大阪市平野区社会福祉協議会 /
平野の町づくりを考える会 / 和っしょい!ひらの

